



前号から引き続き、さかなクンにお話しを伺いました。

——魚に夢中になったきっかけは何ですか？

きっかけは、小学校2年生のときに友達が描いたタコの絵を見たことです。「ギョエー！！なんだこれはー？こんなすごい生きものがいるのー？」と衝撃を受けて、小学校の図書室で夢中になってタコを調べまわりました。放課後には、ランドセルを背負ったまま、タコを見にお魚屋さん通いもしました。でも、お魚屋さんにいるのは、ゆでダコなんだということに気が付き、どうしても生きているタコに会いたいため、家族に水族館に連れて行ってもらいました。

はじめて元気なタコの姿を見て感動！！けれど、水槽の中で暮らすマダコには直接触れることができず……。「これはタコのいる海に行くしかない！」と、夏休みに親戚の暮らす房総半島の白浜に泊まり込みました。朝日が昇るとともに海に駆けつけて、日が暮れるまでタコ探しをしました。

その後は、お魚屋さんはもちろん、本屋さん、図書館、いけすのある料理屋さんなど、お魚があればどこでも見てみたい！というように探求心や好奇心が広がり、行ったことのない町でもとにかく駆け巡りました！

あまりにもお魚に夢中になり、勉強に集中しなかったの、学校の先生が、授業参観のときに

「お魚や絵が好きなのはわかりますけど、学校の授業にももっと集中してもらいたいです。」と母に伝えたことがあったそうです。そのとき母は、「先生、みんながみんな同じだとロボットになっちゃいますよ。うちの子は絵が好きでお魚が好きだからそれでいいんです。」と話してくれたようです。母は、絵が好きでお魚に夢中ということをしぎょくよく理解してくれていました！！

——子どもの頃、就きたかった職業は何ですか？

小学生の頃の卒業文集には、「お魚についてしっかり勉強して、絵を描いて図鑑にしてみんなに見てもらいたい。」「東京水産大学に入りたい。」と書いていました。全然勉強していなかったの、その道には進めなかったのですが、2006年の初夏に東京海洋大学（旧 東京水産大学）でマグロのシンポジウムが開催されたときに、教授であるおさかべ刑部先生から「魚好きなんだよね！よくテレビでも見えますよ。うちの大学で何か一緒にできればいいですね。」と、温かいお声をかけていただきました。そしてその年の秋に、なんと！！東京海洋大学の客員准教授に任命していただきました。

——今後はどのような研究をしていきたいですか？

講演やイベントのときに、その場で言われたお魚を何も見ずにサラサラーっと描くと、ものしぎょく感動していただけます！！言葉が通じない国でも、自分が会いたいお魚や見たいお魚をその場で描くとこれが結構通じるんです！言葉では伝えることが難しいようなことも絵なら表現できることがあると思います。何度かチャレンジしたことはあるのですが、今後は、水中で出会ったお魚をその場で描くことを極めてみたいです♪

また、今まで出会ったお魚の様々なデータを蓄積してきたので、その集大成として、これからの観察・研究・イラストも加えてしっかりまとめ、論文にして発表していきたいのでしぎょざいます。お忙しい中、どうもありがとうございました。

通巻第69号

◎編修・発行

実教出版株式会社

定価(本体200円+税)

2014年 9月 25日 印刷

発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5

2014年 9月 30日 発行

代表者 戸塚雄弐

TEL. 03-3238-7777

<http://www.jikkyo.co.jp/>